

# 1 自己評価及び第三者評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2892200292		
法人名	社会福祉法人 博愛福祉会		
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上		
所在地	兵庫県加古川市尾上町長田254-1		
自己評価作成日	平成29年12月10日	評価結果市町村受理日	

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1) 日中のサービス提供時間帯を7:00~21:00と幅広くとることで、幅広い介護ニーズに対応している。  
2) オンコール体制をとっており、夜間を含む緊急時の訪問にも適宜対応している。  
3) 法人内の作業療法士が事業所に定期的に訪問しており、生活リハビリにおける評価を行うことで在宅生活を支援している。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai gokensaku.jp/28/">http://www.kai gokensaku.jp/28/</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224		
訪問調査日	平成29年12月23日		

## 【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな住宅地にある、少人数個別対応型デイサービスを併設した小規模多機能居宅介護事業所である。共用スペースは、ゆったりとした広く、天窓からの採光で明るく、テーブル席・ソファを適所に置き、畳スペースも設置し、思い思いに過ごせる環境がある。利用者の希望や季節感を取り入れた手作りの食事を提供し、調理・盛り付け・後片付け等、利用者が力や好みを活かして参加できるように支援している。日中のサービス提供時間を幅広く設定し、利用者・家族の要望に柔軟に対応し、在宅生活が継続できるように取り組んでいる。買い物・理美容等での地域の店舗の利用・認知症カフェや地域の祭りへの参加・ボランティアの受け入れ等、利用者が地域と交流できる機会づくりにも努めている。作業療法士・看護師等の専門職からの助言を得て、残存能力の維持向上・自立支援に努めている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および第三者評価結果

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日の出医療福祉グループの基本理念、基本方針が、平成29年10月に制定された。事業所としては、「一人ひとりに寄り添って思うままの生活を」をコンセプトとしている。入職時の研修で説明し周知を図っている。	日の出医療福祉グループとしての理念「日の出プライド」に、「お客様の喜び 社員のよろこび 地域のよろこび」として、地域密着型サービスとしての意義を明示している。事業所として、「一人ひとりに寄り添って思うままの生活を」をコンセプトとしている。入職時に法人理念・基本方針、事業所コンセプトを説明し、周知を図っている。	掲示・研修での説明・ミーティングでの振り返り等を行い、理念・基本方針・コンセプトを理解するための機会を継続的に設け、実践につなげることが望まれる。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	食材の購入等で近隣のスーパーや商店を利用している。また、地域の清掃活動にも参加している。地域行事(夏祭り等)への参加を通して、地域との交流に努めている。	買い物等で、利用者と共に地域の社会資源を日常的に活用し、認知症カフェや、夏祭り等の地域行事にも参加している。オカリナの演奏やフラダンスのボランティアや音楽療法等、地域から来訪を受け交流を図っている。地域の清掃活動への参加・地域包括支援センターが主催する認知症カフェへの参加・キャラバンメイトとしての認知症サポーターの普及活動等、地域で必要とされる活動や役割を担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所職員が認知症キャラバンメイトの一員として認知症サポーターの普及活動を行っている。地域包括支援センターが開催している認知症カフェにも参加している。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市職員や民生委員、地域包括支援センター職員、ご家族様を迎え、2ヶ月に1回定期開催し、運営状況の報告や意見交換、話し合いを実施している。	市の介護保険課職員、地域包括支援センター職員、民生委員(5名)、家族を構成メンバーとして、併設の少人数個別対応型デイサービスと合同で2ヶ月に1回開催している。民生委員は、地域代表と知見者(看護師)を兼ねている。利用者もメンバーにお茶を届け、会議に短時間参加している。利用者状況、活動報告、事故報告を、配布した資料をもとに説明し、参加メンバーから質問・意見・情報提供を受けている。民生委員からの地域の高齢者の動向や地域行事についての情報や、地域包括支援センターからの認知症カフェの案内等、会議での意見や情報等をサービスや運営に反映するように努めている。	運営推進会議は家族が外部者に意見・要望を表せる機会としての位置付けもあることから、数多くの家族の参加が得られるよう、開催案内を全利用者の家族に郵送する等、参加を呼びかけることが望まれる。また、運営推進会議の議事録や会議の内容は、利用者のプライバシーや個人情報に配慮したうえで、公表することが望まれる。
5	(4)		○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通じて事業所の運営状況、取り組み等を報告している。また、事業所での問題点等が生じた場合には適宜加古川市の介護保険課へ報告、相談を行っている。	市の介護保険課職員・地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加があり、利用者や事業所の状況を伝え、助言を得る等、連携を図っている。参加している市内の小規模多機能事業所連絡会を通して、市との連携がある。福祉的支援を要する利用者には、市の生活福祉課職員と協働して支援している。	
6	(5)		○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を実施し、身体拘束の排除に取り組んでいる。気になる言葉掛けや対応等があれば、その都度注意を促し、不適切なケアに至らないように努めている。	重要事項説明書に「身体拘束等の排除について」を明示し、契約時に利用者・家族に説明し、身体拘束を行わないケアを実践している。ゆとり庵部会で「身体拘束廃止」についての研修が開催され、受講した職員が事業所で伝達研修を実施している。伝達研修に参加できなかった職員には研修報告書と研修資料を回覧し周知を図っている。玄関の施錠は行わず、外出の意向があれば職員が対応している。	研修報告書の提出・資料回覧の周知印等、伝達研修の内容の周知を確認する仕組みづくりが望まれる。

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での虐待行為はもちろん、利用者様とご家族様の関係性についても日々観察し、職員間での情報を共有している。	「虐待防止」についても、ゆとり庵部会での研修・事業所内での伝達研修により、職員の周知を行っている。管理者は、話しやすい職場環境づくりを心がけ、希望休を入れたシフト調整等、職員の体調やストレス管理に努めている。送迎時・訪問時等に、家族や家庭内の状況に留意し、必要に応じてサービスを調整し、家族の介護負担が過重にならないように努めている。入浴時等の身体状況に留意し、事業所内外での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	
8	(7)		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて権利擁護事業サービスの概要について説明を行っているが、制度の詳細については理解が不十分面があり、今後研修等の機会を持つ必要がある。	成年後見制度・日常生活自立支援制度等、権利擁護の制度についての研修実施には至っていない。現在、制度利用の事例はないが、今後必要性が生じた場合は、管理者・介護支援専門員が窓口となり関係機関と連携して支援できる仕組みがある。	権利擁護に関する制度について、職員全員が一定の理解が持てるように研修の実施が望まれる。必要時の情報提供のため、パンフレット等を準備し玄関等に設置してはどうか。
9	(8)		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時は管理者、ケアマネージャーが契約書や重要事項説明書、事業所パンフレットを用いて説明を行い、疑問点や不明な点の確認を行っている。改定時は文書を送付し、説明及び同意を得ている。	契約前に「小規模多機能型居宅介護ゆとり庵」のパンフレットを使用して、小規模多機能型サービスの特徴・事業所の特色やサービス内容・利用料金等をわかりやすく説明している。契約時には、契約書・重要事項説明書・リスク説明書等に沿って丁寧な説明に努め、文書で同意を得ている。契約書の内容の改定時には、改定前と改定後の内容をわかりやすく説明した文書を郵送し、送迎時・訪問時・電話等でも説明し、文書で同意を得ている。契約の終了時には、要請に応じて情報提供を行い、サービスの継続性に配慮した支援を行っている。	

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	送迎時や電話連絡時等の情報は申し送りノートを用いて情報共有を行っている。 運営推進会議において、ご家族様や地域の皆様から出たご意見についても都度対応を行っている。	送迎時や訪問時、連絡ノート・電話での連絡等を通して、家族の意見や要望を把握している。意見・要望・相談が表しやすい関係づくりを家族と構築することを、管理者が職員に周知している。職員が把握した内容は管理者に報告し、管理者は迅速に対応すると共に支援経過記録に記録している。サービス調整など、多くは個別の要望・相談であり、個別に対応している。また、送迎時間の厳守や変更連絡についての意見があり、職員間で周知して改善に向けて取り組んでいる。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	正規職員については、年2回個人面談を行い意見、提案を聞いている。非正規職員については、随時面談を受け付けており、日頃から意見、提案を受けやすい関係性の構築に努めている。	管理者は、日ごろから、職員との話しやすい関係づくりと機会作りに心がけ、意見・提案の把握に努めている。人事考課制度での個人面談や契約更新時の個人面談の機会に、職員の意見や提案を個別に聴取する機会を設けている。また、自己申告カードにより、職員が法人本部に直接意見を伝える仕組みもある。職員の意見・提案は、管理者が集約して調整し、申し送りノートで共有して業務改善などに反映している。	日々のミーティングや随時のカンファレンスで、職員が意見・提案を出し合って検討した内容を記録(日・参加者・内容)に残し、記録の閲覧により参加していない職員が共有できる仕組みづくりが望まれる。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	年齢や経験は問わず、実績や能力のある職員に対しては責任ある仕事を与え、向上心を持って仕事に取り組めるよう努めている。また、職員の家庭事情に沿った勤務条件、労働時間を整えている。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正職員は等級に合わせた研修を法人内で実施している。外部研修に関しては、情報を掲示するだけでなく参加を促すよう声を掛けるなどして、積極的に参加するよう推奨している。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他法人や団体主催の研修や懇談会に参加することで、交流と関係性の構築の機会を作っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴を基本とし、利用者様の主体的な生活を尊重し関係づくりに努めている。利用前の面談時に介護職員が同席し、不安を少なく利用できるよう配慮している。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が抱えている不安や困りごとを傾聴するよう努めている。利用者様とご家族様との間で思いの違いがあっても、双方の意見を尊重し関係づくりに努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入時に課題となっている問題を見極め、優先順位をつけて必要なサービスを調整している。ケースによっては小規模多機能型居宅介護の利用に限定せず、居宅サービスへの紹介も視野に入れて検討を行っている。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護を提供するだけでなく、利用者様の生活史なども関わりの中から聞き取り、個性を大切にしながら互いに尊重し合える関係づくりに努めている。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19			○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の役割を事業所が補ってしまわないよう配慮している。事業所での「気づき」をご家族様にフィードバックすることで、ご自宅での介護に活かせるよう働きかけを行っている。		
20	(11)		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの理髪店や商店にお連れすることで、これまでの関係性が継続できるように支援している。	利用開始時の面談や利用中の会話の中で、馴染みの人や場所について把握に努めている。家族・親戚・友人・知人など、馴染みの人の来訪時には、共用スペースや泊まりの部屋でゆっくり過ごせるように配慮している。行きつけの理美容院、馴染みの商店などには、送迎や同行支援を行い関係継続を支援している。	
21			○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の配慮や職員による会話の橋渡しなどで、利用者様同士が円滑に関係性を構築できるよう支援している。		
22			○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や入所系の事業所に移られた利用者様については、各関係機関への情報提供を行っている。入院経過や退所の見通しについても適宜問い合わせを行っている。		

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の一人ひとりの想いや希望を把握するよう努めている。 しかし、実現困難な希望や把握が困難な場合に、本人本位で検討できているとは言い難い。	利用開始時に把握した利用者・家族の意向はフェイスシートに記録し、居宅サービス計画に反映している。利用中に把握した意向は支援経過記録に記録し、申し送りノートで共有したり、計画に反映している。利用者の意向の把握が困難な場合は、家族の意見を聴いたり、文字盤を活用したり、表情や反応から汲み取る等して把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴やこれまでのサービス利用の経過等は常日頃から利用者様やご家族様からの聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できることや一人では難しいこと、認知症の程度などは、適宜作業療法士が評価を行い情報共有を行っている。介護職員や看護職員もケース記録を活用して情報共有を行っている。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	正規職員が中心となり介護計画を作成しているが、全ての利用者様について必要な話し合いができていたとは言い難い。	介護支援専門員が作成した居宅サービス計画書を基に、事業所でのサービス内容をケアプランシートに明示している。通い・訪問時の支援内容・支援方法を、手順書に詳細に記載し、統一したサービスが提供できるように取り組んでいる。ケアプランシート・手順書を綴じたファイルを設置して職員の周知と理解を図り、計画に基づいたサービス実施と記録ができるように工夫している。介護支援専門員が毎月モニタリングを行って支援経過記録に記録し、計画変更の必要性の有無を確認している。定期的には3～6ヶ月ごとに、計画の見直しを行っている。見直しの際は、カンファレンスを実施し、利用者・家族・サービス事業所の意見を計画に反映できるように取り組んでいる。	居宅サービス計画書を見直す際は、サービスの実施状況・目標の達成度・プランの評価(継続・変更・中止)を明記するモニタリングシートの作成と、再アセスメントを行うことが望まれる。また、議事録には、計画見直しのためのカンファレンスであることを明示し、利用者・家族・関係者から把握した意向や意見を記載しておくことが望まれる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の気づきや状態変化については、都度ケース記録に記載している。ただし、情報を記載する職員に偏りがみられる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	短時間の訪問を複数回行うことや、送迎を幅広い時間帯に行うことなどを通して、柔軟な介護サービスの提供に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所の介護サービスだけでなく、これまでの生活様式に合わせた社会資源の活用に努めている。ただし、インフォーマルなサービスが十分活用できているとは言い難く、事業所のサービスで賄うケースが多い。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	サービス導入後も馴染みの医療機関に継続して受診できるよう努めている。また、その都度利用者様の状態に応じて、専門機関の受診についてアドバイスを行っている。	契約時にかかりつけ医を確認し、フェイスシートに記録している。かかりつけ医への受診は、家族同行を基本とし、希望に応じて職員が送迎している。かかりつけ医に報告すべき利用者の状況等は、文書に記載して家族に託け情報提供している。受診結果等は支援経過記録に記録し、申し送りノートで職員に周知している。	
31			○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ほぼ毎日看護師を配置しており、介護職員と協働して日々の状態観察を行っている。訪問看護を併用している利用者様については、ケアマネージャーを通して情報共有を図っている。		
32	(15)		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院の際は必ず医療機関の担当者を通じて情報共有を密に行っている。長期に渡る入院の場合も適宜経過確認に努めている。	入院時には、要請があればフェイスシートをもとに、医療機関に情報提供を行っている。入院中は家族との連絡や見舞いを通して状況の把握を行い、医療連携室等と連携を取り、早期退院に向けた支援に努めている。退院カンファレンスへの出席や看護サマリー等で情報提供を受け、退院後の支援に活かしている。	
33	(16)		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様個々への終末期のあり方について、意思確認に努めている。必要に応じて医療機関等にも情報提供を求めている。	重度化や終末期に向けた体制整備には至っていない。契約時に、利用者・家族に、事業所が出来ること出来ないことを説明している。事例はないが、事業所の看護師・訪問看護事業所と連携し、家族の意向に沿って可能な限り支援を行う方針である。	

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価		
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34			○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様個々に急変時の連絡先や掛かりつけの医療機関などの情報をまとめてファイリングしており、迅速な連絡対応が行えるよう配慮している。しかし、看護師不在の際の応急処置や初期対応の訓練は行えていない。	/		
35	(17)		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防団との関わりは持っているが、大規模な災害を想定した訓練等は定期的の実施できていない。	年2回、デイサービスと合同で、昼夜想定で、利用者も参加して、通報・避難誘導・消火の総合訓練を実施している。参加できなかった職員には、訓練の実施記録の回覧で周知を図っている。	運営推進会議等を活用し、火災・自然災害時の地域との協力体制を築くこと、また、食料や必要な物品を検討し備蓄を整備することが望まれる。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(18)		○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳やプライバシーを損なう声掛けについては、職員相互に注意し合える関係性が築けるよう努めているが、徹底できていない面もある。 個室、個浴、パーテーションなどのハード面は、比較的充実している。	プライバシー保護について、ゆとり庵部会での研修・事業所内の伝達研修で、周知を図っている。利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について、管理者層が注意を促し意識向上に努めている。個室・個浴・移動式のパーテーション等、環境面でもプライバシー保護に努めている。個人ファイル類は事務所の鍵のかかる書庫に保管し、個人情報の適切な管理に努めている。		
37			○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	飲み物や嗜好品、趣味活動など、事業所側から決まったものを提供するのではなく、希望に沿ったものを提供するように努めている。複数の選択肢を用意することで自己決定の支援を行っている。	/		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38			○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	サービス提供時間に捉われず、利用者様やご家族様の希望や状況に応じて、柔軟に対応できる体制づくりに取り組んでいる。		
39			○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの理髪店への送迎、こだわりの商品の購入支援など、希望に沿った身だしなみへの配慮やおしゃれを楽しめるよう配慮している。		
40	(19)		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	介護職員が献立の作成から食材の買い物、調理に至るまですべてを行っている。その過程で利用者様の意見や協力を求め、協働して食事作りを行っている。	利用者の希望や季節感を考慮して、職員が交代で、半月単位で献立を立て、食材の買い物を行い、手作りの食事を提供している。行事食の採り入れ、季節感のある献立等、食事が楽しめるように工夫している。下準備・調理・盛り付け・配膳・後片付など、利用者が力や好みを活かして参加できるように支援している。利用者の身体状況に応じて、食事形態の工夫を行っている。	
41			○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は通いサービス利用時にチェックしており、体重測定も定期的の実施している。		
42			○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは、利用者様それぞれの状態に応じて、自立支援に配慮しながら行っている。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄リズムを把握することで、排尿の多い時間帯にトイレ誘導を行うなどして、失禁回数やオムツの使用頻度が減少するよう取り組んでいる。	排泄チェック表で、利用者個々の排泄リズム・排泄状況を把握し、個別に時間帯をみて誘導や声かけを行っている。自宅での状況や家族の意向によりおむつ交換を行っている場合もあるが、可能な限りトイレでの排泄を支援している。ドアの開閉・誘導時の声掛け・消臭剤の使用等、プライバシーや羞恥心への配慮を周知している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤等による排泄コントロールが必要な利用者様には看護師の管理のもと、服薬の調整を行っている。便秘傾向の利用者様の食生活について、ご家族様へのアドバイスも行っている。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	可能な限り希望に応じて入浴できるよう配慮しているが、時間帯や曜日によっては対応できないことがある。	自宅での入浴状況も確認し、可能な限り希望の回数・時間帯に入浴できるよう支援している。個室でゆったりと入浴できるように支援し、利用者の身体状況に応じてリフトを使用して入浴出来る設備もある。異性介助を嫌がる利用者には同性介助で対応している。入浴を嫌がる利用者には声かけやタイミングを工夫し、無理強いすることなく気持ちよく入浴してもらえるように配慮している。必要に応じてパーティションを利用し、羞恥心にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	空き室やパーティションを使用してプライバシーに配慮しつつ、安心して休息できるよう配慮している。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47			○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	訪問サービスによる服薬確認だけでなく、必要に応じて薬剤師による居宅療養管理指導を導入し、確実に服薬ができるように連携を図っている。		
48			○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や園芸など、昔からの趣味や楽しみごとの把握に努め、役割が持てるよう支援を行っている。		
49	(22)		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り希望に応じた外出ができるよう努めていはいるが、当日の希望に対応できないことがある。また、事業所職員が対応する場合はほとんどで、地域の方々の協力を仰ぐに至っていない。	日常的には、利用者の希望に応じて、近隣のコンビニ等への買い物や理美容院を利用できるように外出支援を行っている。認知症カフェや地域の夏祭りへの外出も支援している。	日常的な外出と共に、季節が感じられる場所や、普段は行けないような場所へも、利用者の希望を把握し出かけられるように支援することを期待する。
50			○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額であれば自己管理で事業所に持参していただいている。利用者様の希望に応じて消費活動が行えるよう支援している。		
51			○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎや郵便物の投函を支援している。		

小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵尾上

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	座席の配慮や、必要に応じてパーテーションを使用するなどして、好みの空間で過ごすことができるよう配慮している。	ゆったりした広さのある共有空間は、天窓からの自然光が入り明るい空間となっている。テーブル席・ソファを適所に配置し、畳敷きのスペースもあり、利用者が思い思いに居心地良く過ごせる環境づくりを行っている。壁面に利用者と共に制作した季節に合わせた飾り付けを行い、季節感を大切にしている。食事づくりの音や匂いから、家庭的な雰囲気も感じられる。次亜塩素酸を使って加湿を行い、感染予防にも努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席の配慮や、必要に応じてパーテーションを使用するなどして、好みの空間で過ごすことができるよう配慮している。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に馴染みの物品を持ち込むことができる。自宅のベッドやポータブルトイレの配置を再現するなどして、より自宅に近い環境で過ごせるよう支援している。	泊まりの部屋は9室あり、採光がよく明るい。ベッド・整理ダンス・椅子・除菌を兼ねた加湿器を設置している。ぬいぐるみ・枕等、馴染みのものの持ち込みを勧め、ベッドやポータブルトイレを自宅と同じように配置し、自宅に近い生活環境で落ち着いて安全に過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮し、より自宅に近い環境を再現して自立支援に努めている。		